東北海区沿岸水温予報(2001年12月)

海域	経 過 (1～10月)	現況 (11月)	見通し (12～2月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸 北部 (青森県太平洋沿岸;青森水試発表)	津軽暖流域の水温:1～2月やや低め, 3～7月平年並, 8～10月やや低め(県南部を中心に親潮系冷水の差し込みの影響). 津軽暖流の東方への張り出しはやや強めから平年並(やや強め基調).	143°E以西の津軽暖流域は概ね平年並. 沿岸定地水温は全般的にほぼ平年並.	水温は全般的に平年並で推移. 津軽暖流の東方への張り出しは平年並.	11月上旬の対馬暖流域水温は表面はやや高いものの, それ以深は平年並. 津軽暖流の東方への張り出しは上流域(日本海)の現況や津軽暖流の季節変化等から平年並に推移.	津軽海峡東部海域(大畑沖)で10月～11月中旬にかけてスルメイカ漁が好調に推移(11月中旬までの累計で昨年比約2倍).
三陸 中部 (岩手県沿岸;岩手水セ発表)	1～3月までは, 沿岸親潮の影響で県全域で低め～極めて低めで推移した. 4, 5月は親潮の張り出しが弱まったものの, 局所的に冷水が点在する形となり, 平年並～やや低めとなった. 6, 7月は親潮の南下勢力が再び強勢に転じた. 8～10月は親潮が分断され, 冷水域が残った. 11月は冷水域が消失し, 暖水の張り出しが強まった.	100m深で5℃以下の親潮第一分枝は認められないものの, 親潮に連なる10℃以下の冷水の張り出しが黒埼沖合20～40海里からトドヶ埼20海里にかけて認められる. また, 100m深で15℃以上の暖水が椿島沖合20及び40海里から尾埼以北の沖合50海里以東にかけて分布している.	10海里以内では表面･100m深で平年並～やや低め基調に推移する. 10～70海里では表面･100m深で平年並～やや高め基調で沖合に行くほど高めで推移する.	津軽暖流の下北半島東方への張り出しが平年並であること. 親潮第1分枝に連なる冷水が南下傾向にあること. 三陸沖合に分布する暖水は, 過去の知見から今後後退していくものと思われるが, ある程度の勢力は維持されると判断したこと.	県内主要6港における水揚げ状況(11月下旬現在)秋サケ(定置網)は漁期前半に県中部以南を中心に好調な水揚げが見られたが, 漁期後半になって水揚げが伸び悩んでおり, 年累計で13,968トンで前年の1.3倍. ヤリイカ(釣り)が釜石を中心に水揚げがみられ, 年累計で3,536 トンで前年の約4倍と好調.
三陸 南部 (宮城県沿岸;宮城水セ発表)	1～3 月は親潮第 1 分枝の南下により, 表面･100m 深ともに平年より 2～8℃低め. 4 月は沖合からの暖水波及により, 沖合海域で表面･100m 深とも平年より 2～4℃高めとなったが, 5～7 月は再び親潮第 1 分枝の影響を受け, 表面･100m 深とも概ね 2～5℃低め. 8 月, 9 月は表面で 2～3℃低め, 100m 深では概ね 2～7℃低め. 10 月は表面では平年並, 100m 深では沖合で 1～3℃高め, 沿岸で 2～3℃低め.	11 月上旬は 142° E 以東の中南部海域に黒潮系暖水が波及し, 表面･100m 深ともに 2～6℃高め. 他の海域は, 142°30′E 以東の中部海域の 100m 深で 2～3℃低い他はほぼ平年並. 11 月中旬頃から黒潮系暖水の沿岸への波及が強まり, 高め傾向となった.	表面･100m深とも期間前半は平年並～高めで推移. 期間後半は平年並に近づく.	黒潮系暖水の波及が非常に強く, この影響を今後も継続的に受けると思われる. ただし, 期間後半になるにつれて親潮系冷水の南下が予想されるので, 特に沿岸域で降温する.	9 月 21 日に石巻湾奥の万石浦にアザラシが出現. 10 月下旬にセグロウミヘビ, アカウミガメが定置網に入網. 11 月 10 日以降, 黒潮系暖水が接岸. 江島では 11 月中旬で平年より極めて高め. 11 月 22 日に雄勝町熊沢漁港にカタクチイワシの群れが入り込み, 大量にへい死.
常磐 北部 (福島県沿岸;福島水試発表)	1 月:表層, 下層とも単調に推移. 2～3 月:東経 142° E 線に沿って冷水が南下し, 表層で 0～2℃台と, 極めて低め. 4 月:低め基調が持続し, 前月より沿岸寄りに冷水が南下. 黒潮系水の北上弱く, 南部で低め～極めて低め. 5 月:黒潮系水の勢力が強まり, 高め～極めて高め. 6 月:県北部海域に親潮系水の差し込みがみられるものの, 黒潮強勢は持続し, 県中～南部で高め～極めて高め. 7, 8 月:黒潮系水の北上は沖寄りとなり, 親潮系水が南下し, 沿岸部に冷水域が形成された. 県南部海域ではやや高め～極めて高め, 冷水域の見られた沿岸部では低め基調. 9, 10 月:親潮系水が県北部から県南部沿岸にかけて南下した. 黒潮系水は沖合寄り.	11月:黒潮系水が沿岸まで波及し, 県北部沿岸(東経141°30′以内)で平年よりやや低めとなった以外は, 全域の表層～下層で高め～極めて高めとなった. 12月上旬:前月に引き続き、黒潮系暖水の勢力が強く, 表層～下層で高め～極めて高めとなった。特に, 距岸50海里付近で平年より5～8℃高くなった. なお, 塩屋埼、鵜の尾埼ともに, 50海里以内の100mで20℃台がみられたのは, 1961年以来初めてである.	距岸 30 海里以内は「平年並み～やや高め」, それ以東の沖合では県南部を中心に「高め」.	黒潮系北上暖水の勢力は弱まる時期にあるが, 強勢傾向は 11 月以降強勢で推移しており, 今後も強め基調で推移する見込み. 親潮系冷水は, 沿岸寄りに南下するものの, 北上暖水の波及により, 本県への影響は弱いと思われる.	2～4 月:平年値を大きく下回る冷水が南下. 4 月下旬以降:オキアミ漁場の形成が見られず, 低調. 5 月中旬～下旬:曳釣によるカツオ漁場がいわき海域に形成. 9 月:まき網によるサバ漁場が福島県沿岸に形成された. 10 月:中旬に, 一時的ながらも常磐北部海域にサンマ漁場が形成. 10～11 月:曳釣によるカツオの低調, メジの好漁. シラスの好漁. 5 月以降から漁が継続し, 秋にまとまった水揚げがあった.

常磐 南部 ～ 鹿島灘 (茨城県沿岸;茨城水試発表)	1～3月:常磐南部に親潮系冷水が差し込み, 鹿島灘には暖水舌が形成されていた. 4月:黒潮は沖合域に存在し, 沿岸域に黒潮系暖水が波及していた. 黒潮の張り出しにより親潮系冷水は塩屋埼沖まで後退した. 5～7月:黒潮は本県沖で離接岸変動し, 沿岸域に黒潮系暖水が波及した. 8～10月:黒潮は本県沖合を北上し, 沖合に黒潮系暖水が波及していた. また, 親潮系冷水の差し込みがみられた.	11月上旬:黒潮は沖合域を北上し, 沿岸域に黒潮系暖水が波及していた. 11月中旬:常磐海域に黒潮が接岸し, ほぼ全域が黒潮系暖水に覆われている.	12月は暖水波及が継続し「平年並～高め」, 1月以降は親潮系冷水が差し込み, 沿岸域で「平年並～やや低め」, 沖合域では「平年並～やや高め」で推移する.	黒潮の勢力は強いが, 季節変動では南下する時期に当たるため, 徐々に南下すると考えられる. また, 常磐海域の接岸傾向は房総沖の小蛇行の通過に伴い, 徐々に離岸すると考えられる. 黒潮の離岸に伴い, 親潮系冷水の差し込みが予想される.	7月以降月間シラス水揚量が過去最高(2000トン)であった(7月:船曳網). メジマグロが大量に入網した(7～8月:定置網). イセエビ・ボタンエビが大量に入網した(9月:底引き網). シラスの水揚量は多かったが, カエリの漁獲が少なかった(8～9月:船曳網). ゴマサバの混獲割合が高い(7月～:まき網). マアジ・ウルメイワシの漁場が常磐沖に形成されている(8月下旬～:まき網). 常磐沖でのサンマ漁場形成が一時的であった(10月中旬).

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4℃～	+4.0℃～	+6.0℃～	+2.4℃～	+4.0℃～	+4.0℃～
高い (7.5%)	+1.6～+2.3℃	+2.5～+3.9℃	4.0～+5.9℃	+1.6～+2.3℃	+2.5～+3.9℃	+2.5～+3.9℃
やや高い (20%)	+0.7～+1.5℃	+1.0～+2.4℃	1.5～+3.9℃	+0.7～+1.5℃	+1.0～+2.4℃	+1.0～+2.4℃
平年並み (40%)	+0.6～-0.6℃	+0.9～-0.9℃	1.4～-1.4℃	+0.6～-0.6℃	+0.9～-0.9℃	+0.9～-0.9℃
やや低い (20%)	-0.7～-1.5℃	-1.0～-2.4℃	1.5～-3.9℃	-0.7～-1.5℃	-1.0～-2.4℃	-1.0～-2.4℃
低い (7.5%)	-1.6～-2.3℃	-2.5～-3.9℃	4.0～-5.9℃	-1.6～-2.3℃	-2.5～-3.9℃	-2.5～-3.9℃
極めて低い(2.5%)	-2.4℃～	-4.0℃～	-6.0℃～	-2.4℃～	-4.0℃～	-4.0℃～